

定例公安委員会の開催状況について

令和7年9月4日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和7年上半期における警察宛て苦情取扱状況について

令和7年上半期における警察宛て苦情取扱状況について報告があった。

委員から、これまでどおり前広に苦情を受理して組織で対応する姿勢を継続し、不適切な職務執行が認められる場合には確実に改善していただきたい旨の発言があったほか、学校教養等において、適切な市民応接等を指導・教養していただきたい旨の発言があった。

委員から、苦情の内容や原因等を精査するとともに、継続した指導・教養に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、指導・教養では、現場の警察職員に対し、対応する際の具体的な対処方法等を示すことが重要であり、学校教養等においては、事例を基に、問題点は何か、どのように対応すべきか、などを考える機会を設けていただきたい旨の発言があった。

(2) 特殊詐欺等の被害防止に向けた各種協定の締結予定について

特殊詐欺等の被害防止に向けた各種協定の締結予定について報告があった。

委員から、特殊詐欺等の被害額が、依然高水準で推移している。被害の抑止には、検挙と広報が重要であるところ、今回の協定のような官民連携も推進し、警戒に間隙を生じさせない取組も推進していただきたい旨の発言があった。

委員から、特殊詐欺の手口は、日々変化かつ巧妙化しており、個人や一企業では万全な対策を講じ切れない状況になっている。そうした中、県内の企業や事業者が集う商工会議所や被害防止の効果が期待できる民間企業との協定締結は、大変有効と考える旨の発言があったほか、加盟企業の従業員に至るまで、協定の趣旨が広く理解してもらえるよう努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、特殊詐欺被害の防止に向け、県民の警戒感を高めるとともに、一人一人の自己防衛力を向上させるため、特殊詐欺の前兆事案や新たな手口を認知した場合には迅速に広報していただきたい旨の発言があった。

(3) 令和7年度山形県・酒田市合同総合防災訓練への参加について

令和7年度山形県・酒田市合同総合防災訓練への参加について報告があった。

委員から、激甚化、頻発化する近年の自然災害を踏まえ、この度参加する関係機関との実戦的な訓練を通じて、対処能力の向上に努めていただきたい旨の発言があったほか、昨夏の大雨災害時の警備活動を教訓に、救助活動に当たる関係者の安全確保にも配慮した訓練にしていきたい旨の発言があった。

委員から、PDCAサイクルを実践し、本訓練を通じて明らかになった課題については、確実に改善に役立てるようにしていただきたい旨の発言があった。

委員から、訓練会場の酒田市を含む庄内地域は、大雨災害時などにおいて、内陸地域とを結ぶ主要道路が寸断し、通行不能になるおそれがあることから、過去の災害時の対応等を踏まえながら、様々な状況を想定した訓練を実施していただ

きたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。

○ 山形県警察組織に関する規則の一部改正について

警察本部から、山形県警察組織に関する規則の一部改正について説明を受け、決定した。

○ 山形県公安委員会専決事務に関する規程の一部改正について

警察本部から、山形県公安委員会専決事務に関する規程の一部改正について説明を受け、決定した。

○ 令和7年上半期における警察宛て苦情取扱状況について

警察本部から、令和7年上半期における警察宛て苦情取扱状況について説明があった。